

第六次総合計画 前期基本計画 施策体系(案)

【将来像】
「豊かさ」と「しあわせ」を感じる共創のまち 須坂

■指標達成率の基準
【増加目標】
A:目標値に達成しているもの
B:目標値の80%以上に達成しているもの
C:目標値の80%未満の達成状況のもの
【削減目標】
A:目標値に達成しているもの
B:目標値から120%未満の範囲のもの
C:目標値から120%以上の範囲のもの

★＝総合戦略との共通指標

	基本目標	目指す姿	基本施策(案)	施策(案)	強化・チャレンジキーワード	基本目標の指標(KQI)(案)	施策の成果指標(案) ■＝市民意識指標 ◇＝市民取組指標	プロセス指標(案)	第5次計画(後期)施策との対応	主な担当部署案	第5次成果指標	指標達成率
1	多様性を認め合い、誰もが活躍できるまち	・性別・国籍・障がいの有無などの違いを超えて、互いに多様性を認め合い、誰もが自分らしく輝ける活躍の場を持てる共生社会を目指します ・SDGsの基本理念「誰一人取り残さない」に沿った取組みを重点的に推進します ・「人と人」、「人と資源」が世代や分野を超えてつながり、一人ひとりが生きがいを感じられる全世代活躍のまちを目指します	一人ひとりが大切にされ活躍できるまちづくり	人権尊重・共生社会の実現	ネット上の人権侵害モニタリング、人権3法、ノーマライゼーション	■「困難を抱えた人が安心して暮らせるまち」と思う人の割合	■「人権が尊重される社会の実現」満足度 ◇「日常的に人権を尊重するようにしている」人の割合	・差別を受けたと感じる人の割合 ・人権教育・啓発事業などの延べ参加者数 ・外国語での情報提供	36 人権が尊重される社会の実現	人権同和政策課 人権同和教育課	町別人権問題学習会への参加	B
				全員活躍社会の推進	全世代活躍(特にシニア活用)・女性活躍		■「男女共同参画社会の実現」満足度 ◇「生きがいを感じている高齢者の割合」 ◇「性別にとらわれず、仕事や家事・育児をしている」人の割合 ・就業率(子育て世代女性、高齢者)	・市の審査会等における女性の参画率 ・地域の方針決定の場への女性の参画度 ・シルバー人材センターの登録者数	38 多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進(多文化共生)	市民課 政策推進課		
2	子どもの個性と力かのびのび育つ教育のまち	・安心して結婚・出産・子育てができる地域の子育て力の強化やワンストップの子育て支援により、子どもがのびのび育ち、子育て世代に選ばれるまちを目指します ・変化する時代の中、チャレンジ精神をもって、いきいきと活躍できる人材を育む特色ある教育を目指します	安心して子育てができるまちづくり	切れ目のない出産・子育て支援の充実	ワンストップ窓口、子育て移住支援、待機児童ゼロ維持、子どもは宝プロジェクト	合計特殊出生率	■「子育てしやすいまち」だと思う市民の割合 ◇「子どもや子育て家庭をあたたく見守り、必要があればサポートしている」人の割合	・各種予防接種の接種率 ・子育て支援センター利用者数	9 子育て環境の充実	子ども課	病児保育の実施★ 合計特殊出生率★	A
				次代を担う人材を育むまちづくり			■「特色ある魅力的な学校づくりの推進」満足度 ・学校満足度(「学校経営概要まとめ」小中学校編)	・食材の地場産使用度 ・不登校児童・生徒の学校復帰率	1 健康づくりの充実(母子保健)	健康づくり課		
			児童・青少年健全育成の推進	特色ある教育の推進	ICT教育、インクルーシブ教育、食育、ふるさと教育、不登校・いじめ対策		■「児童・青少年健全育成の推進」満足度 ◇「地域の子ども健全育成活動に携わっている」人の割合	・住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合 ・家庭児童相談の年間件数 ・虐待認知件数	7 特色ある魅力的な学校づくりの推進	学校教育課	不登校児童の割合小学校 不登校生徒の割合中学校	C C
				児童・青少年健全育成の推進	信州型コミュニティスクール、虐待防止、地域による見守り				8 児童・青少年健全育成の推進	子ども課	子育てセミナーの参加者数	A
3	健康で健やかに暮らせるまち	・市民主導の健康づくり活動を継続し、人生100年時代にふさわしい先進モデルの確立を目指します ・高齢になっても安心して地域で過ごせる支え合いの地域包括ケア体制を目指します ・支援を必要とする人が地域の中で孤立することなく、誰もが安心して暮らすことができ、地域全体で見守り、寄り添い、支えあうまちを目指します	人生100年時代の健康長寿のまちづくり	健康づくりの推進	須坂JAPAN、健康データ活用・見える化、須坂モデル、こころの健康づくり、感染症対策	健康寿命 ■「困難を抱えた人が安心して暮らせるまち」と思う人の割合	◇「健康維持・増進に取り組んでいる」人の割合	・特定健康診査受診率	1 健康づくりの充実	健康づくり課	糖尿病の患者数の対前年増加人数	A
				介護予防の推進	フレイル対策		・要介護認定率	・介護予防事業の延べ参加者数 ・介護予防事業参加率	4 高齢者福祉の充実	高齢者福祉課	元気な高齢者数★	B
				地域包括ケアシステムの推進	在宅医療、須高在宅ネットワーク、リビングウィル		■「高齢者や障がいのある方など困難を抱えた人が安心して暮らせるまち」と思う人の割合 ・介護サービス利用者の在宅介護率	・認知症サポーター登録数	2 地域医療を支える体制づくり	健康づくり課	24時間在宅療養生活のための在宅医療安心ネットを活用した「須高在宅ネットワーク」の参加機関	B
			孤立させない支え合いのまちづくり	地域福祉の推進			・福祉ボランティア参加人数 ■「みんなで助け合う福祉の充実」満足度 ◇「高齢者や子どもの見守り活動に参加している」人の割合	・福祉体験教室開催回数 ・災害時支え合い台帳、支え合いマップなどの作成区数 ・避難行動要支援者個別計画登録申請率	3 みんなで助け合う福祉	福祉課	福祉ボランティアの活動状況	B
				障がい者福祉の充実	医療的ケア・発達障害への切れ目のない支援		・地域移行率 ・一般就労移行率 ・障がい者雇用率(年) ◇「障がいのある方や困難を抱えている方に対して、必要があれば日常的に手助けをしている」人の割合	・自立のための実習、訓練への参加者数	5 障がい者福祉の充実	福祉課	障害者総合支援法による福祉サービスにより一般就労した人の数	B
				生活困窮者への支援	被保護者健康管理支援		・自立した被保護世帯の割合 ・生活困窮者自立支援事業の就労支援による就業者数	・生活支援相談件数	6 生活困窮者への支援	福祉課	自立した被保護世帯の割合	B

	基本目標	目指す姿	基本施策(案)	施策(案)	強化・チャレンジキーワード	基本目標の指標(KGI)(案)	施策の成果指標(案) ■=市民意識指標 ◇=市民取組指標	プロセス指標(案)	第5次計画(後期)施策との対応	主な担当部署	第5次成果指標	指標達成率
4	一人ひとりが学び、高め合うまち	・市民主体の学びの活動を維持・発展させることを目指します ・人生100年時代を豊かで文化的に自分らしく生きることのできるまちを目指します ・地域の歴史・伝統文化を学び、次の世代へ受け継ぐ仕組みのあるまちを目指します	主体的に学び合うまちづくり	多様な生涯学習の推進	リカレント教育	■生きがいを感じる市民の割合 ※現在市民意識調査には設定されていません	■「生涯学習の機会充実」満足度 ◇「公民館や図書館などで自主的な学習に取組んでいる」人の割合	・中央公民館・地域公民館等の延べ利用者数 ・生涯学習の講座数と参加者数 ・市立公民館の講座における地域住民が講師を務めた講座の割合	18 生涯学習の機会充実	生涯学習推進課	中央公民館・地域公民館等の延べ利用者数	C
			芸術・文化・スポーツ活動に熱心なまちづくり	芸術・文化・交流活動の推進と継承	機能分散型総合博物館、まると博物館構想		■「生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしたまちづくりの推進」満足度 ◇「生涯学習・文化芸術に親しみ、地域のみなさんと一緒に活動に取組んでいる」人の割合 ◇「地域の伝統行事に参加するなど、文化の継承に取組んでいる」人の割合 ◇「国際交流活動に取組んでいる」人の割合	・施設利用者数 ・図書などの貸出し冊数 ・文化財保護活動参加者数 ・少年考古学教室参加者数 ・蔵の町並みキャラバス参加者数 ・国際交流フェスティバル延べ参加者数	19 生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしたまちづくりの推進	文化スポーツ課	メセナホール等文化振興事業団管理施設、図書館、博物館などの施設利用者数	B
									38 多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進(国際交流)	市民課 政策推進課		
			スポーツ活動の充実		子ども頃からアウトドア		◇「日頃スポーツを行っている」人の割合	・「新体力テスト」児童生徒の体力合計点 ・スポーツ活動を週に1回以上行っている成人の割合 ・市民一人あたりのスポーツ施設利用回数	20 スポーツ活動の充実	文化スポーツ課	体育施設利用者数	C
5	安心・安全で快適な生活と美しい自然がともにあるまち	・自然災害の教訓を活かし、気候変動の時代に向けて災害に強いまちを目指す ・交通安全や防犯、消費生活の安全に対して自主的な活動が行われ、啓発意識が高いまちを目指す ・自然と調和しながら、先進的で快適な生活を楽しむことができるまちを目指す ・豊かな自然環境を未来の世代に引き継ぐため、環境保全に対する意識が高いまちを目指す	安全・安心で心穏やかに暮らせるまちづくり	防災体制の充実	ICT利活用	■「住みやすいまち」と思う市民の割合	■「防災体制の充実」満足度 ◇「災害に対する備えを行っている」人の割合	・地域の自主防災組織による防災訓練(災害図上訓練を含む)実施数 ・市防災訓練参加者数 ・地域防災マップ作成率	13 防災体制の充実	総務課	地域の自主防災組織による防災訓練災害図上訓練を含む実施数	B
				消防・救急体制の充実	広域化		■「消防・救急体制の充実」満足度	・消防団協力事業所数 ・消防団員数	14 消防・救急体制の充実	消防本部	出火率の減少	C
				交通安全対策の推進			・市内での交通事故発生件数 ・市内での年間交通死亡事故件数 ■「交通安全対策の推進」満足度 ◇「交通ルールや交通マナーを守っている」人の割合	・交通安全大会、各種講演会などの延べ参加者数 ・免許返納率	15 交通安全対策の推進	市民課 道路河川課	市内での交通事故発生件数	A
				消費生活の安全の確保	エシカル消費(SDG's)		・通信販売(インターネット等)に関する被害認知件数 ・特殊詐欺認知件数(年)	・消費生活に関する講座への参加数 ・消費生活展、街頭啓発、講習会などの実施回数	17 消費生活の安全	市民課	消費生活に関する講座への参加数	B
				地域安全体制の充実	町別サポーターの活用		・市内での犯罪発生件数 ◇「防犯活動に取組んでいる」人の割合 ◇「近所づきあいを大切にし、日常的に支え合っている」人の割合	・自治会への加入率(★) 区への加入率	16 地域安全対策の推進	市民課	市内での犯罪発生件数	A
									42 地域コミュニティの活性化	市民課 市民課	自治会への加入率★ 元気な高齢者数★	A A
			快適で便利な都市基盤のあるまちづくり	土地の有効利用の促進	インター周辺地区開発、公共交通との連携による歩いて暮らせるまちづくり		■「自然環境と調和した土地利用の推進」について『実現された』とした回答の割合 ■「土地の有効利用の促進」満足度	・市街化区域のうち、都市的土地利用の割合	30 土地の有効利用の促進	まちづくり課	市街化区域のうち、都市的土地利用の割合	A
				安定的な上下水道の運営			■「上下水道の整備」満足度	・上水道(県営水道)の普及率 ・下水道水化率	32 水環境の保全と水道水の安定的な供給	水道局	水道の有効率	B
				橋や道路整備の推進	インター周辺開発に伴う道路整備		■「橋や道路整備の推進」満足度	・道路改良率 ・舗装修繕率 ・道路施設における歩行空間の整備	33 橋や道路整備の推進	道路河川課	道路改良率	A
				安心して快適な住環境の推進			■「安心して快適な住環境の推進」満足度	・個人住宅の耐震補強補助件数 ・住宅の耐震化率 ・木造住宅耐震化率	34 安心して快適な住環境の推進	まちづくり課	住宅の耐震補強	C
				公共交通の確保			■「公共交通の確保」満足度 ◇「電車、バス、乗合タクシーを利用している」人の割合	・すざか市民バス・すざか乗合タクシーの利用者数(★) ・デマンド交通利用登録者数	35 公共交通の確保	市民課	すざか市民バス・すざか乗合タクシーの利用者数★	B
				自然環境の保全	生物多様性		■「自然環境の保全」満足度 ■「自然との共生について」満足度 ◇「環境にやさしい生活を実践している」人の割合	・環境マネジメントシステムの取り組み事業所数 ・環境保全活動参加者数 ・外来動植物等の年間駆除回数 ・希少な動植物の年間保護活動回数	10 自然環境の保全	生活環境課	主要河川のBOD値の改善	B
			豊かな自然と調和する個性あるまちづくり	須坂らしい景観づくりの推進	協働による緑化		■「良好な景観要素の保全と育成の推進」満足度 ◇「緑化や美化などの景観の保全活動に取組んでいる」人の割合	・歴史的建造物の登録(★) ・市内一斉美化活動への参加者 ・景観形成住民協定締結地区数	31 良好な景観要素の保全と育成の推進	まちづくり課	歴史的建造物の登録★	B
				循環型社会の推進と地球温暖化対策			・再生可能エネルギー自給率 ■「循環型社会の推進」満足度 ◇「リサイクルや分別などによりごみの減量に取組んでいる」人の割合	・一人一日あたりのごみの排出量 ・年間のCO2の排出量(市) ・市内家庭の総消費電力	11 環境を守る活動の推進	生活環境課	市の自然環境を保護するために定められた須坂市の二酸化炭素CO2 排出	-
									12 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理	生活環境課 生活環境課	可燃ごみ排出量 不燃ごみ排出量	B B

	基本目標	目指す姿	基本施策(案)	施策(案)	強化・チャレンジキーワード	基本目標の指標(KGI)(案)	施策の成果指標(案) ■=市民意識指標 ◇=市民取組指標	プロセス指標(案)	第5次計画(後期)施策との対応	主な担当部署案	第5次成果指標	指標達成率					
6	活力と賑わいの ある自立したまち	・本市の強みである農業や健康づくりを軸に、商工業・サービス業との連携を進めるなど、既存産業の高付加価値化や新産業創出を目指します ・様々な世代に雇用機会が豊富にあり、起業にチャレンジしやすいまちを目指します	多様な産業の活力あふれるまちづくり	農業の活性化	ブドウの地域ブランド力強化、新規就農促進、農福連携、農作業の省力化	1人あたりの労働生産性 (市内総生産／就業者数) ・社会増減	・農畜産物産出額 ■「農業の活性化」満足度 ◇「地元の農産物を積極的に購入するなど、地産地消を心がけている」人の割合	・新規就農者数 ・遊休農地面積	21	農業の活性化	農林課	支援制度を利用した耕作放棄地解消面積	B				
				林業の振興と森林の保全・活用			・木材生産量	・協働の森づくり事業の参加者数 ・森林整備面積 ・搬出間伐 ・民有林年間間伐面積	22	森林の多面的機能の維持保全と共生	農林課	間伐整備の実施面積	B				
				強みを活かした新産業の創出	産業戦略化活性化会議の活用		・製造品出荷額 ・新技術・新製品開発件数	・累計開発支援件数 ・果樹の新品種・新技術導入による栽培面積 ・産学官連携に参加する企業数 ・各種産業育成制度の活用件数 ・地域ブランド認定業者数	23	既存産業の高度化・高付加価値化の促進	産業連携開発課	産業コーディネータ、産業アドバイザーが関わって新製品・新技術などの開発支援をおこなった件数	A				
				雇用機会の充実と産業人材の育成	メンタルケアの必要性、起業、若者活躍、須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク、デュアルシステム、ICT時代への対応、IT人材育成、働き方改革、「新しい生活様式」を踏まえたリモートワーク		・新規学卒(市内高卒)の市内企業への就職率(★) ・インターンシップ実施学生数 ・就職相談会参加者数 ・有効求人倍率 ・支援による創業者数	28	雇用機会の充実と産業人材の育成	産業連携開発課	就業支援センターの利用者が就職した割合★ 新規学卒市内高卒の市内企業への就職率★	C A					
			交流とにぎわいの あるまちづくり	中心市街地と商業の活性化	わざわざ店・まちゼミ		・年間商品販売額 ■「商業の活性化」満足度 ◇「日用品などできるだけ市内のお店で買い物するようにしている」人の割合	・わざわざ店等開設支援事業の申請件数(開設) ・中心商店街における新規店舗数	25	商業の活性化	商業観光課	魅力的で集客力のある店の開設数★	A				
				地域資源を活かした観光産業の振興	広域観光、地域住民による地域の良さの理解促進、特産品の活用、「新しい生活様式」を踏まえた観光振興		・観光消費額	・観光地利用者数・宿泊者数★ ・外国人宿泊者数 ・文化・観光施設入館者数★ ・コンベンションの参加者数	26	観光産業の振興	商業観光課	観光消費額	A				
									27	観光資源の活用	商業観光課	観光地利用者数★ 文化・観光施設入館者数★	C C				
				シニアプロモーションの推進	暮らし観光、まるごと博物館構想、地域ブランド構築、ふるさと納税、ふるさと信州須坂のつどい		・「地域ブランド調査」による須坂市の認知度 ◇「農産物を市外の人にするめている」人の割合 ◇「須坂市を観光地として市外の人にするめている」人の割合	・県外プロモーションイベントの実施件数 ・SNS情報発信リーチ数 ・博物館・史跡公園の入館(場)者数	39	特色をいかした地域振興の推進	政策推進課	須坂市を知っている人の割合	C				
			7	市民とともに つくる持続可能なまち	・ICT化を進めるとともに、民間活力を活かしたスピード感のある効率的な行政運営を目指します ・地域の魅力を発信し、住みたいまち、選ばれるまちを目指します ・対話や信頼関係に基づき、住民や自治組織と行政が共創するまちづくりを目指します		未来志向型の行政経営を行うまちづくり	情報発信・広聴・広報の充実	SNS活用	◇「市政に関心がある」人の割合	■広報須坂 または 市ホームページを見ている人の割合 ■「広聴・広報の充実」満足度	・各審議会などの全体公募委員割合 ・市長SNS登録者数	40	情報発信、広聴・広報の充実	政策推進課	広報須坂 または 市ホームページを見ている人の割合	A
								ICT等の活用による業務効率化の促進	オンライン申請、AI・RPA導入検討、マイナンバー普及啓発、広域連携、業務の効率化、経費削減と職員の負担軽減、ワークライフバランス、「新しい生活様式」を踏まえた在宅勤務など新たな働き方		・電子申請の件数(件/年) ■「ICTによる利便性の向上と効率的なシステム運用」満足度	・オンライン利用促進対象手続きのうち、市がオンライン化している手続きの割合 ・オンライン化済の申請、届出、予約手続きのオンライン利用率 ・オープンデータ公開件数	41	ICTによる利便性の向上と効率的なシステム運用	政策推進課	行政手続きのオンライン利用率	A
								44	市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり		総務課	市役所業務の改善(職員年間環案件数)	C				
長期的展望に立った財政運営		・財政力指数 ・経常収支比率 ・歳出に占める扶助費の割合				・市税率(現年課税分) ・実質公債費比率 ・将来負担比率 ・財政調査基金および減債基金残高、市債残高		45	長期的展望に立った財政運営		財政課	財政力指数	A				
共創の活力に みちたまちづくり	地域資源をいかした移住定住の促進	移住支援信州須坂モデル、空き家の確保、VRなどICT技術を活用した情報発信・移住体験、「新しい生活様式」を踏まえたリモートワーク				・行政のサポートによる移住者数 ■「住み続けたい」と思う人の割合	・空き家バンク掲載物件の契約成立件数 ・移住体験ツアー参加者数	43	地域資源をいかした移住定住の促進		政策推進課	移住者数の増加★	A				
	協働・市民参画の推進	・地域づくりの小さな拠点、地域公民館、公民館活動・役割の再定義				◇「ボランティアや市民活動に取組んでいる」人の割合 ◇「自治会活動に参加している」人の割合 ◇「市民として、さまざまな形で市政に参加している」人の割合	・生涯学習の講座数と参加者数 ・地域コミュニティ組織の数	38	多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進(市民活動)		市民課	ボランティア団体数	C				
								18	生涯学習の機会充実(地域づくり)	生涯学習推進課	中央公民館・地域公民館等の延べ使用者数	C					